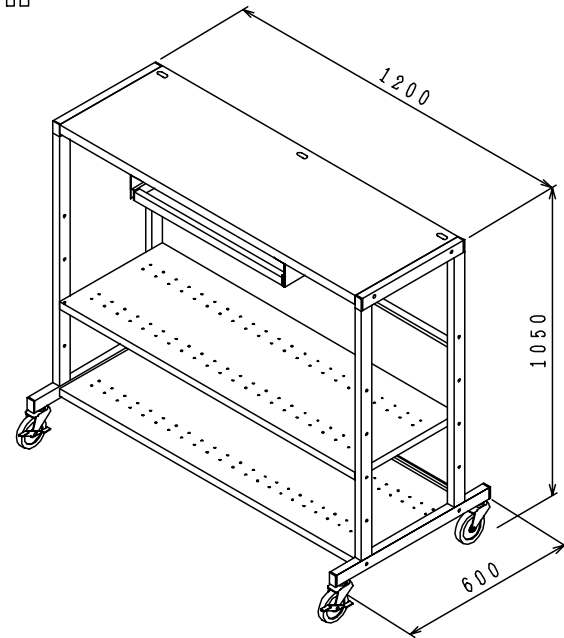


お買い上げありがとうございました  
 RAC-WD1 (ワイドラック)  
 を正しく組立てていただくため、この組立説明書をよく  
 お読みください。

組立説明書

RAC-WD1 (ワイドラック)

完成品



ご注意とお願い

- 1 天板の上に乗らないでください。
- 2 お手入れの際は、シンナー・ベンジン・みがき粉などは、使わないでください。
- 3 耐荷重内での使用にとどめてください。  
総耐荷重は120kgです。
- 4
- 5
- 6

仕様

品名	ワイドラック
品番	RAC-WD1
外形寸法	幅1200×奥行600×高さ1050
重量	36.0Kg

製品に関するお問い合わせは

製品の品質管理には、細心の注意をはらっていますが、万一不都合な点や製品に関するお問い合わせなどございましたら、お買い求めの販売店又は下記までお気軽にご相談ください。

東京サブライセンター 岡山サブライセンター  
 〒140-8566 東京都品川区南大井6-5-8 〒700-0825 岡山市北区田町1-10-1  
 TEL 03-5763-0011 FAX 03-5763-0033 TEL 086-223-3311 FAX 086-223-5123

組み立てる前に

- 用意していただくもの・・・手袋（鋼製品ですので組み立ての際は必ず着用してください。）
- 部品を確認してください。（この商品は棚板部ケースとスライダークラスとフレーム部ケースの3梱包になっています。）

棚板			スライダークラス							フレーム		
天板×1	可動棚板×2	バックパネル×1	スライダークラス×1	フレーム×2	ケーブルフック×6	ストッパー付 キャスター×2	ボルトA (M6×12) ×10	ワッシャー×16	六角レンチ×1			
							ボルトB (M6×16) ×4	スプリングワッシャー 小×16	19Mスパナ×1			
							ボルトC (M6×40) ×12	スプリングワッシャー 大×4				

組み立て方 (ボルトはゆるめに締めておいて、完成後もう一度締め直してください。)

**1** フレームに可動棚板をボルト (C) とワッシャーとスプリングワッシャー (小) で取付けます。フレームはナットが付いている方が後側になります。可動棚板に前後はありません。緩めに締めておき、最後に増し締めします。

**2** バックパネルをボルト (B) とワッシャーとスプリングワッシャー (小) で取付けます。バックパネルはフラットな面を外に向けて取付けてください。取付箇所は3段階あります。1で取付けた可動棚板と当たらない所に取付けてください。

**3** フレームにキャスターを取付けます。フレームとキャスターの間にスプリングワッシャー (大) を入れてください。ストッパー付キャスターを前に取付けてください。付属のスパナを使用して締めてください。

**4** 天板の裏側にスライダークラスをボルト (A) で取付けます。天板は長穴が空いている方が後側になります。スライダークラスは天板を裏返した状態でしっかり留めてください。スライダークラスの位置は、左、中、右の3ヶ所から選べます。使用状況に合わせてお選びください。

**5** フレームに天板をボルト (C) とワッシャーとスプリングワッシャー (小) で取付けます。天板を取付けたら各部増し締めをしてください。

**6** バックパネルにケーブルフックをボルト (A) で取付けます。ケーブルフックのピッチはケーブルに合わせてお選びください。最後にもう一度、各部増し締めをして完成です。